

施設長より

9月4日の当作業所の平成30年度上期施設運営協議会を開催する予定が、台風により10月29日に延期とさせていただ

きました。運営協議会では、施設の上半期の報告と、利用者支援の振り返り、地域にある福祉施設として地域からの期待や、相互の協力関係など意見交換をすすめます。また、10月

今後の予定

- 10/1 家族171訓練
- 10/4・25 スポーツクラブ
- 10/11・23 アウトドアクラブ
- 10/13 作業所まつり
- 10/19 ねりいち販売会
- 10/22 第三者評価利用者調査
- 10/24 家族会
- 10/29 30年度 運営協議会

武蔵野会後援会ご支援のお願い

社会福祉法人武蔵野会は多くの事業を運営しています。各施設の運営並びに福祉の推進ができるよう物心両面より支える組織として武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力・ご支援をお願い申し上げます。

武蔵野会後援会事務局

東京都八王子市台町1-19-3
TEL 042(626)9772

の家族会で練馬区障害者施策推進課就労支援係より、これから作業所等について情報提供があります。ご家族の参加をお願いします。(村山)

就労勉強会

がつ
9月27日

- 外出の話 参加利用者の多く方が、遠出をする頻度は少なく、近場の外出で買い物、外食が多かった。近所の草花に興味を持ち散策が楽しみという方もいた。
- 趣味、余暇の話 参加利用者の趣味を聞くと、音楽・テレビ鑑賞、カラオケ、プールなどが挙がった。野球観戦、ライブコンサートが良かったという意見が出ました。茶話会の機会が楽しみな方もいました。
- お金の話 工賃の使途を聞くと、本・雑誌、音楽ソフト、ゲームソフトなど、自分の趣味や食べ物を買いますと言う方が多かった。家族や知人に贈り物を買ったという方や、行事の食事代や交通費を工賃から充てている方もいた。

消費税についても話題になりました。会議や打ち合わせで自分の意見を発表することや相手に伝えることを学ぶ機会になりました。(熊谷)

編集後記：季節の変わり目です。体調に気をつけましょう(宮城)



つうしん きたまち通信

131号

がつ

9月

りょうしゃしゅくはくりよこう

2ページ：「利用者宿泊旅行」

3ページ：「災害対策について」「武蔵野会練馬地区職員実践事例報告会」

4ページ：「施設長より」「就労勉強会」「武蔵野会後援会ご支援のお願い」「今後の予定」



はつこう しゃかいふくしうじん むさしのかい ねりまくりつきたまちふくしざぎょうしょ
発行：社会福祉法人 武蔵野会 練馬区立北町福祉作業所

〒179-0081 東京都練馬区北町8-2-12

メール: musashinokai@kitamachi.net

電話: 03(3559)0361 FAX: 03(3559)0362

ホームページ: http://care-net.biz/13/kitamachi/

No.2

がつ
9月6~7日りょうしゃ しゅくはくりょこう
利用者宿泊旅行

ことし りょうこう がつ か か
今年の旅行は、9月6日~7日がサザンクロ
はん はつか にち はん きぼうしゃ
ス班、20日~21日はカシオペア班の希望者
さんか
が参加しました。

しょにち おおみや てつどう
初日は、リニューアルした大宮にある鉄道
はくぶつかん かんらん しうわ ころ とぎゅう
博物館を観覧しました。昭和の頃の特急
れっしゃ しんだいれっしゃ
列車、寝台列車、
しんかんせん さいしんしゃりょう
新幹線の最新車両
などいろいろな
きやくしや させき す
客車の座席に座わ
ることができたり、
れっしゃ
ジオラマの列車の
もけい よう
模型は楽しかった様
ちゅうしょく かい
です。昼食は3階の新幹線ラウンジで3
しゅるい えきへん す べんとう えら したつみ
種類の駅弁から好きな弁当を選び舌鼓。
てつどう す かた てつどうかんけい しな じぶん
鉄道好きな方は、鉄道関係の品を自分へのお
みやげ こうにゅう みな の
土産として購入。そして、皆さんを乗せた
かんえじ どうしやどう はし ほんじょう こだま
バスは、関越自動車道を走り本庄児玉イン
かんなかわ じょうりゅう すす しもく ぼ
ターから、神流川の上流へ進み、下久保ダ
わた ひのき かお かみいすみ とうちやく
ムを渡り檜の香るホテル神泉に到着。



ホテル出発前のサザンクロス班の皆さん

がつ
9月20~21日さいがい たいさく
災害対策について

わらじカツセット



やくとう だいよくじょう きぶん
薬湯の大浴場は気分も
さいこう じまん こうか
最高！ホテル自慢の豪華
りょうり あじ
なお料理をゆっくり味わ
ちょうしょく だい
いました。朝食も大
まんぞく
満足です。皆さんゆったり
へや
りとお部屋でくつろがれ
かめ

ていました。2日目は、ホテルを出発し
ながとろ ちちぶ ちゅうしん とお よこせ

て長瀬、秩父の中心を通り、横瀬にある
こまつざわ のうえん か

小松沢レジャー農園で、ブドウ狩り・ブ

ドウの食べ放題、甘いねと
こえ き
いう声が聞こえてました。
みち えき
「道の駅ちちぶ」にてお
みやげ ちゅうしょく めいぶつ
土産と、昼食は名物「わ
らじカツとお蕎麦のセッ
いただ たの
ト」を頂きました。樂し
おも で みやげ きたまち
い思い出をお土産に北町に
かえ むらやま
帰ってきました。(村山)

がつ
9月13日さいがい
災害シンポジウム「災害
けんしゅう さんか
にどう備えるか！？」

ココネリホールで開催された練馬区社会福祉協議会主催の災害シンポジウム「災害にどう備えるか！？」～日頃からのつながりが地域を守る～という研修に参加しました。一部は「大災害の際に一番怖いことはなんでしょうか？」という講師からの質問で話が始まりました。防災の基本として「命を守る」「情報の収集の方法を準備」等をあげ、個々に、寝ている場所の安全、自宅の耐震、3日分の非常用飲食備品、懐中電灯とラジオ等の順番が示され、自助努力を考えよう。できれば自宅周辺の給水拠点と防災井戸を調べておこう。公的支援は災害時の混乱の中では遅れると思うことをきっかけ話された。発災後の避難所生活、医療面の備え、周辺地域からの支援、ボランティア対応などを学び、活動している防災委員会の取り組みの紹介がありました。(武田)

だいふ ねりまちいき
第2部では、練馬地域で
たけだ

がつ
9月11日

武藏野会練馬地区職員実践事例報告会

ねりまふくしえん じっせんじれいほうこくかい かいさい
練馬福祉園にて実践事例報告会が開催され、90名ほどの練馬地区の職員が参加
ねりまちく なか しせつ じっせんじれい はっぴょう
し、練馬地区の中から3施設3実践事例が発表されました。入所施設から「短期
にゅうしょ りょう ざいたくしや ほんにん してん じゅうし しえん じっせん
入所サービスを利用されている在宅者の、本人の視点を重視した支援の実践」
みと ささ こうくう じっせん かん ほうこく
と、「看取りを支える口腔ケアの実践」に関する報告があり、通所施設から「意思
けいていしえん じっせん かん ほうこく
決定支援の実践」に関する報告がありました。各施設の事情や、在宅の施設の求め
とう
られるニーズ等、
りょうしゃ まも してん
利用者を守る視点で、
たしょくしゅきょうどう しえん
多職種共同で支援が
ていきよう しょくいん
提供され、職員の
くふう こころ まな
工夫・試みを学ぶこと
たけだ
ができました。(武田)

じっせんじれいほうこくかい ようす
実践事例報告会の様子